

## 株主メモ

決算期 毎年3月31日  
定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座 口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
電話 0120-094-777(通話料無料)

公告方法 電子公告  
<http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/>  
ただし、電子公告による公告をすることができない事故  
その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### 【お知らせ】

#### 1. 株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### 2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。

### 【免責条項】

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



## Faith IR Mail

フェイスの最新情報をお届けします。

IR関連情報をE-mailで無料配信しております。  
プレスリリース等を発表とほぼ同時に、月に2-3回程の頻度で送信申し上げます。

ご登録はこちらから  
<http://www.faith.co.jp/ir/mail.html>

## 株式会社フェイス

〒604-8171  
京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル  
<http://www.faith.co.jp/>  
お問合わせ先  
TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833



# 株式会社フェイス 第18期(上期) 営業のご報告

Faith, Inc. Semiannual Report  
(2009.4.1~2009.9.30)



## 新しいサービスの開発を、 着実に推進しています。

当第2四半期連結累計期間においては、ブロードバンドや高速モバイルデータ通信／定額料金制の普及等を背景として、パソコン・携帯端末・テレビ・ゲーム機・一部の家電等、様々な機器がネットワークに接続し、場所を選ばず情報やコンテンツを取得できる環境が整い始めました。

また、家庭用3D対応テレビの商品化、携帯と家電の連携、新たな端末の出現等、ハード面も進化を続けています。一方コンテンツ市場では、種々の機能や情報を活用した新たなコンテンツが次々と生まれ、あらゆるジャンルから選択が可能な時代へと進化しています。

当社グループは、ユーザーが求めるのは単なるコンテンツや多端末への展開だけでなく、新しい発想によるユーザーの嗜好や環境への対応、端末や機器の固有性に依存しないサービスの提供、それに

よる利便性の向上であると認識し、「マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略」を推進しています。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、電子マネー事業の高い成長により前年同期比4.1%増の26,322百万円、利益面では着信メロディ事業の減収等から営業利益は前年同期比17.7%減の747百万円、経常利益は前年同期比6.9%減の690百万円となり、四半期純利益は前年同期比45.1%減の157百万円となりました。

### コンテンツ事業

米国アカデミー賞公認映画祭である「ショートショート フィルムフェスティバル&アジア」と提携し、レコード会社各社が提供する楽曲で短編映画を募集する「ミュージック Shortクリエイティブ部門」を設立、さらには携帯・パソコン・デジタル家電等、様々な機器で映像配信サービスを視聴できる環境の整備に努めました。

また「iPhone/iPod touch」向けアプリケーションの開発・配信事業の開始や、ウィルコムとの家庭用情報端末および地域活性化情報コンテンツを提供する地方自治体向けサービスの開発を開始しています。

医療健康情報サービスにおいては、電子カルテ情報を携帯端末で閲覧できる「ポケットカルテ」に全国約16万の病院等の検索機能を追加しました。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高は、着信メロディ事業の減収等により、前年同期比24.1%減の5,004百万円、営業利益は前年同期比47.1%減の387百万円となりました。

### 電子マネー事業

平成21年3月末には、国内のブロードバンド・ネットワーク契約件数が3,033万件を超え<sup>\*</sup>、電子マネー事業の主力であるオンラインゲーム、携帯コンテンツ、映像配信等のデジタルコンテンツ市場の需要拡大が続きました。

決済額の増加を目指し、加盟店と共同キャンペーンを実施し、「ウェブマネー ウォレット」および「ウェブマネー ウォレット+ (プラス)」では、会員専用ポイントで交換可能な限定アイテムを拡充し、登録者数の増加を図りました。新たな動きとしては、ユーザー間の決済を可能にしたサービスや「WebMoney」と連携させた広告サービスも開始しました。

以上の結果、電子マネー事業の売上高は前年同期比15.0%増の20,701百万円、営業利益は決済額の伸長等から前年同期比

122.8%増の334百万円となりました。

<sup>\*</sup>総務省報道資料「ブロードバンドサービスの契約数等(平成21年6月発表)」による

### その他の事業

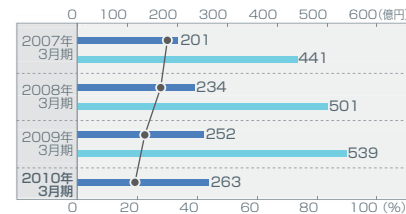
その他の事業については、ポイントカードシステム事業収入等により、売上高は前年同期比11.8%減の617百万円、営業利益は前年同期比16.2%増の39百万円となりました。

以上のことから、引き続きオンラインゲーム市場の拡大による電子マネー「WebMoney」の決済額の増加、および着信メロディの会員数減少傾向の鈍化と新たなユーザー獲得施策の奏功等により、当第2四半期連結累計期間の業績は、順調に推移しました。通期の業績予想については、景気動向・株式市場の今後の見通しが不透明な状況にあり、当社グループの主たる収益源であるコンテンツ市場においても、消費動向への影響が懸念されており、さらには、一部の新規サービスの収益化の遅れの可能性等も勘案し、平成21年5月13日に公表しました通期業績予想を据え置いています。

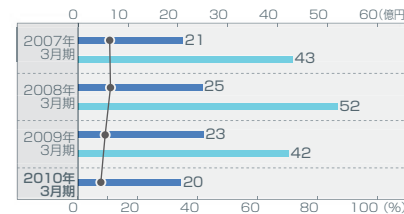
代表取締役社長 **平澤 創**

### 財務ハイライト(連結)

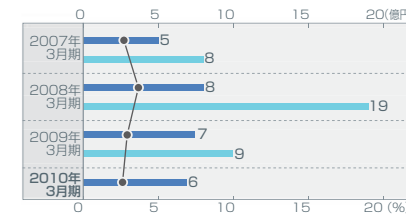
#### 売上高/売上総利益率



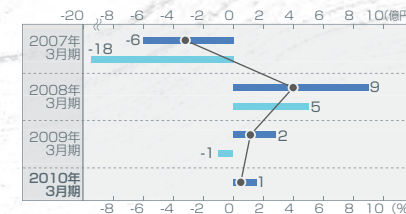
#### EBITDA/EBITDA利益率



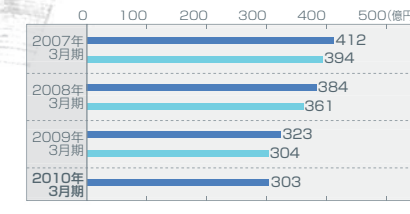
#### 経常利益/経常利益率



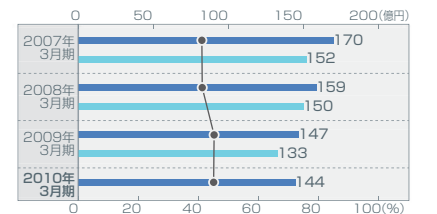
#### 四半期(当期)純利益/四半期純利益率



#### 総資産



#### 自己資本/自己資本比率





# 新しい才能・作品と出会うために。

対談「MusicBirth+」事業担当 石井 貞之 ☒ 「ミュージック Short クリエイティブ部門」事業担当 岡田 修紀



「MusicBirth+」  
毎週日曜深夜0:50~/TBS (関東地区で放送中)

### Profile

株式会社フェイス  
企画営業本部 コンテンツサービス事業  
ユニット 部長 ユニットリーダー

**石井 貞之** Sadayuki Ishii

コンテンツ制作とともに、それを届ける「しくみ創り」にも関心をもち、2001年10月フェイスに入社。「ポケメロ」プロジェクトに参画後、提携企業と公式サイト立ち上げのコンサルおよびプロデューサーに就任。NTTドコモとともに「メロディコール」のサービス運営も。

ユーザーが、本当に観たい、聴きたいと思うコンテンツの創造を

**岡田**：石井さんは才能あるアーティストを発掘、その楽曲を配信する「MusicBirth+」事業の推進役を務めていらっしゃいますが、音楽コンテンツのマーケットをどうぞご覧になっていますか。

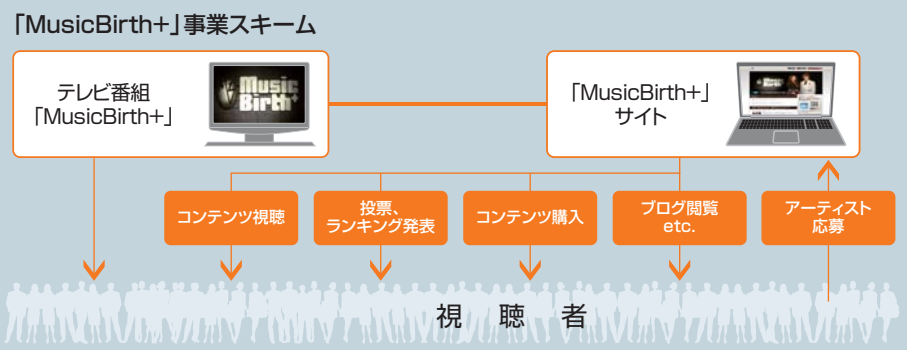
**石井**：現在では、レコード会社や音楽事務所等が、独自に人材を発掘・育成し、その後集中的にTV・雑誌等のメディアに露出させ注目度を上げる、というプロモーション活動によってヒット曲や人気ミュージシャンを創出する手法が主流となっていると思います。

**岡田**：つまり人為的に、広告宣伝によって「人気アーティスト」を創り出すという。

**石井**：そうですね。ですから、リスナー側は常にレコード会社の意図のもと売り出されたアーティストを受け入れる形になっている。つまり、ここにはリスナーの趣味嗜好といったニーズがあまり反映されていない。

**岡田**：リスナー、すなわちユーザーのニーズがもっと直接的に反映されれば、市場にも新たな可能性が開けてくるというわけですね。

**石井**：岡田さんは米国アカデミー賞公認の「ショートショート フィルム



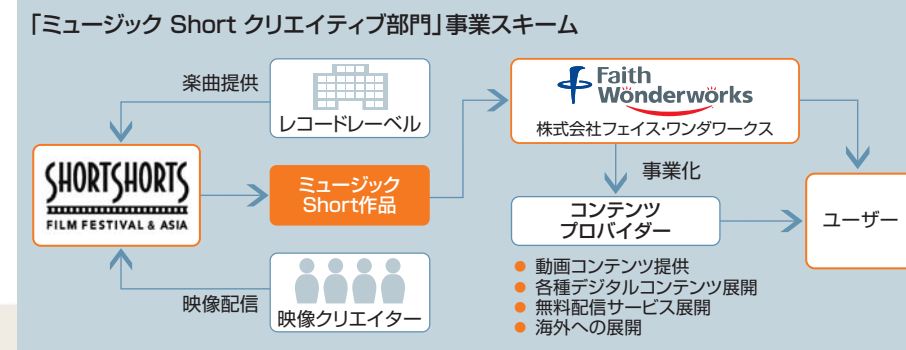
TV・インターネット・携帯を完全融合、アーティストの発掘、プロモーション、楽曲販売をトータルに行う音楽ビジネスのワンストップソリューション。

フェスティバル & アジア2010」の「ミュージックShortクリエイティブ部門(以下、ミュージックShort)」事業の運営に関わっていますが、動画の市場をどう見えていますか。

**岡田**：いま、動画の配信は「YouTube」のような無料サイトが多くのユーザーを獲得している一方、有料サービスも数多く開始されており、多様化してはいるが、市場としては未成熟という状況です。それだけにいろいろな可能性があると思います。フェイスは、携帯コンテンツの配信で大きな強みを有していますが、では携帯に動画を配信する際にどんなものがあるか考えた場合、短い時間で視聴できて、多くの人にアピールできる要素があるもの、というのがひとつの結論です。「ミュージックShort」は、音楽レーベルが公式提供した楽曲を使用して、プロアマ問わず映像作家が独自に映像作品を製作し、応募するものですが、この企画の開催に踏み切ったのも、携帯をはじめとしたモバイル動画の可能性を掘り下げたいと思ったからなんです。

才能ある人材を発掘、魅力的なコンテンツを創造しそれを確実にユーザーに届けるビジネスを

**石井**：「MusicBirth+」は、ブレイクする可能性を秘めたアーティストに、多方面のプロフェッショナルがプランナーとして様々なアドバイスをを行い、その成長過程をドキュメントとして伝える番組です。TV・インター



米国アカデミー賞公認の「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア2010」に「ミュージックShort クリエイティブ部門」を新設。音楽レーベルが公式提供した楽曲に、独自の映像をつけた短編映画作品を公募、2010年の同映画祭での受賞発表後、有料にて配信展開。動画の新たな市場を創出する。

ネット・携帯を完全融合させており、視聴者は私たちが運営する「MusicBirth+」のパソコン・携帯サイトから出演アーティストの楽曲を購入したり、TVでは見られなかった映像や情報を得ることができます。



### Profile

株式会社フェイス・ワンダワークス  
営業企画部 部長

**岡田 修紀** Naoki Okada

音楽関連商品の販売会社に在籍していたが、飽和状態にある市場に限界を感じ、2003年11月、新市場開拓に重きを置くフェイスに入社。アーティストの楽曲およびその他コンテンツの配信サイト運営・管理に従事。2006年ギガネットワークスへ出向。現在のフェイス・ワンダワークスに在籍。





**岡田：** そういったアーティスト発掘番組みたいなのは過去にもありましたが、それと違うのは、CD化を待たずにインターネットですぐに買えてしまうところですね。また視聴者の声も、ダイレクトに届くから、アーティストもいろいろな批評やアドバイスを参考にして創作ができる。

**石井：** つまり私たちは、従来までの視聴者を、インターネットを介して購買や情報発信を行う「ユーザー」に変える、そうした新たな市場を創出するというコンセプトのもと事業を進めているのです。さらには、人気が出たアーティストの著作権管理や活動のマネージメント等のプロデュースも行っていきたくと思っています。発掘から楽曲配信、アーティストのマネージメントや商品プロデュースまでをワンストップに行うビジネスモデルが「MusicBirth+」なのです。

**岡田：** 「ミュージックShort」も、魅力的な短編動画を選出して、そこで終わらない、という点では同じです。同部門のグランプリや賞をとった作品をはじめ、公募で集まった優秀な作品の配信権を我々がホールドし、自社を含む数多くの配信事業者のサービスで有料配信していく、それが事業としての狙いです。先ほども話題に出ましたが、動画は以前まではインターネット上で無料で観られるのが当たり前時代。だからこそ有料コンテンツには、斬新なアイデアや手法等が求められる。そこで無限の可能性を持ったクリエイターから作品を公募するわけです。

**石井：** しかもそこにはアカデミー賞公認のアジア最大の短編映画祭という、世界的な冠がついている。注目度も上がりますね。

**岡田：** 「ミュージックShort」は、もともと認知度の高いアーティストの

楽曲に、短編映画的な動画をつけるわけですから、これにより音楽ファンを動画のマーケットに誘引することができるわけです。

コンテンツ流通での中立的な立場、ユーザー目線のサービス発想力がカギ

**岡田：** フェイス・グループは、今回のようなコンテンツ流通の全く新しい「しくみ創り」や、企画・制作に力を入れていますが、それだけでなく配信技術やインフラの開発、さらに流通・販売も行っている。そうした多彩な領域での実績やノウハウを持っているところが、他社にない強みですね。

**石井：** コンテンツ流通の川上から川下までを知り尽くし、常に中立的な立場からものを眺め考えられる。こうした視点があるから、今回のようなアーティストの楽曲配信のしくみや、短編動画という市場への仕掛け創りができる。

**岡田：** そしてユーザー目線に立って「こうあるといいな」という「しくみ」を発想する力がある。それが私たちの独自性であり強みの部分でしょう。今後、僕はモバイル動画におけるキラコンテンツを生み出し、これからの動画市場の牽引役になりたいと思っていますが、石井さんは？

**石井：**僕は、やはり「MusicBirth+」から才能あるアーティストを発掘し、ビッグネームに育てたい。そんな将来像を想像すると本当にワクワクしますね。



健康情報管理サービス「ポケットカルテ」に全国約16万の病院等、検索機能を追加

携帯端末等で自身のカルテ情報を管理することができる「ポケットカルテ」に全国約16万の病院、診療所、歯科診療所を検索できる機能を追加(PC向け)。住所、路線、診療科目から

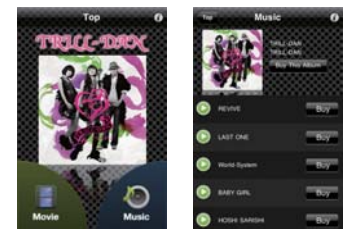


絞り込み検索ができます。これにより、ワンクリックで、自身の健康情報と連携した最適な病院選びが可能になります。

全国の診療所が、住所・路線・診療科目から検索可能!

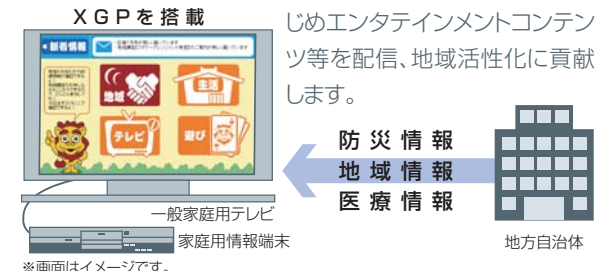
国内初「iPhone/iPod touch」向けアプリケーションの開発システムを「COOK(クック)」ブランドで開始

「iPhone/iPod touch」を使って、出版やプロモーションを行いたいという事業者様にに向けて、「iPhone/iPod touch」向けアプリケーションの開発・配信事業「COOK(クック)」を開始しました。物流や在庫等にかかる時間やコストにとらわれず、国内外に向けての情報配信が可能となります。本アプリケーション開発を、出版業界や音楽業界をはじめとした様々な業界に対し、提供していきます。



高速モバイルデータ通信「XGP」を搭載した端末と地域活性化サービスを、ウィルコムと共同開発

ウィルコムと共同で「XGP」を搭載した、既存のテレビにつながりだけで、様々な情報を取得可能な家庭用情報端末と、本端末を利用した地方自治体向け地域活性化サービスの開発を開始しました。本サービスでは、防災/地域/医療情報をはじめエンタテインメントコンテンツ等を配信、地域活性化に貢献します。



※画面はイメージです。

朝日放送の提供する携帯向け動画配信サイトにおいてSoftBankモバイル向けに、NFRM™サービスを開始

朝日放送が運営する動画配信ケータイサイト「ABCプレミアム」内で「NFRM™(Near Field Rights Management®)サービス」の提供を開始、NTTドコモに加え、ユーザーから要望の大きかったSoftBankモバイルにも対応しています。今後、2,000万人を超えるSoftBankモバイルユーザーの獲得を目指していきます。



連結貸借対照表

科目	当第2四半期 2009年9月30日現在	前期 2009年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>21,871</b>	<b>22,023</b>
現金及び預金	15,621	13,508
受取手形及び売掛金	4,832	6,963
有価証券	239	240
商品及び製品	121	317
仕掛品	41	41
原材料及び貯蔵品	14	12
未収還付法人税等	264	90
繰延税金資産	447	450
その他	387	657
貸倒引当金	△99	△259
<b>固定資産</b>	<b>8,469</b>	<b>8,461</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>408</b>	<b>437</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>4,576</b>	<b>5,685</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,485</b>	<b>2,338</b>
投資有価証券	2,901	1,707
その他	684	715
貸倒引当金	△100	△84
<b>繰延資産</b>	<b>7</b>	<b>11</b>
<b>資産合計</b>	<b>30,349</b>	<b>30,496</b>

科目	当第2四半期 2009年9月30日現在	前期 2009年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>12,739</b>	<b>13,432</b>
支払手形及び買掛金	5,580	6,222
短期借入金	2,019	2,029
未払法人税等	440	12
利用原価引当金	3,450	3,316
ポイント引当金	305	361
賞与引当金	93	95
その他	848	1,393
<b>固定負債</b>	<b>1,952</b>	<b>2,563</b>
長期借入金	1,033	2,054
繰延税金負債	801	274
退職給付引当金	74	73
その他	42	162
<b>負債合計</b>	<b>14,691</b>	<b>15,996</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>13,729</b>	<b>13,620</b>
資本金	3,218	3,218
資本剰余金	3,708	3,708
利益剰余金	7,454	7,345
自己株式	△651	△651
<b>評価・換算差額等</b>	<b>700</b>	<b>△263</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>1,228</b>	<b>1,142</b>
<b>純資産合計</b>	<b>15,658</b>	<b>14,499</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,349</b>	<b>30,496</b>

連結損益計算書

科目	当第2四半期 2009年4月1日 ～9月30日	前第2四半期 2008年4月1日 ～9月30日
<b>売上高</b>	<b>26,322</b>	<b>25,291</b>
売上原価	21,159	19,539
<b>売上総利益</b>	<b>5,163</b>	<b>5,751</b>
販売費及び一般管理費	4,415	4,843
<b>営業利益</b>	<b>747</b>	<b>907</b>
営業外収益	60	69
営業外費用	117	236
<b>経常利益</b>	<b>690</b>	<b>741</b>
特別利益	157	291
特別損失	138	760
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>709</b>	<b>273</b>
法人税等	487	104
少数株主利益又は少数株主損失(△)	63	△119
<b>四半期純利益</b>	<b>157</b>	<b>287</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 2009年4月1日 ～9月30日	前第2四半期 2008年4月1日 ～9月30日
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>2,980</b>	<b>1,930</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>331</b>	<b>△343</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△1,070</b>	<b>△1,559</b>
現金及び現金同等物に 係る換算差額	20	△73
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,262	△46
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△67
現金及び現金同等物の 期首残高	10,649	10,614
現金及び現金同等物の 四半期末残高	12,911	10,499



### 株式状況

発行可能株式総数	1,990,000株
発行済株式総数	1,196,000株
株主数	15,429名

### 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	468,840	40.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	68,874	5.99
ゴールドマンサックスインターナショナル	22,533	1.96
シービーニューヨークインテルキャピタルコーポレーション	22,052	1.92
吉本興業株式会社	20,687	1.80
ドイェンクアーゲーロンビービーノリティークライアツ613	18,178	1.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,931	1.56
田中 治雄	13,697	1.19
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,211	0.88
大阪中小企業投資育成株式会社	9,800	0.85

※持株比率は自己株式(47,950株)を控除して計算しています。  
 ※持株比率は表示単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

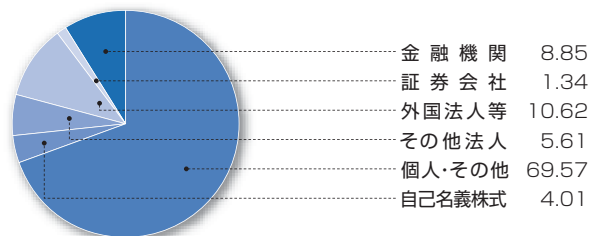
### 取締役および監査役

代表取締役社長	平澤 創
取締役	踊 契 三
取締役	佐 伯 浩 二
取締役	小清水 勝
取締役(非常勤)	樋口 泰 行 (マイクロソフト株式会社代表執行役社長)
常勤監査役	清 水 章 (公認会計士)
監査役	富岡 康 真 (財団法人テレコムエンジニアリングセンター) (テレック総合研究所 グループリーダー)
監査役	菅谷 貴 子 (弁護士)

※樋口泰行は、社外取締役であります。  
 ※監査役全員は、社外監査役であります。

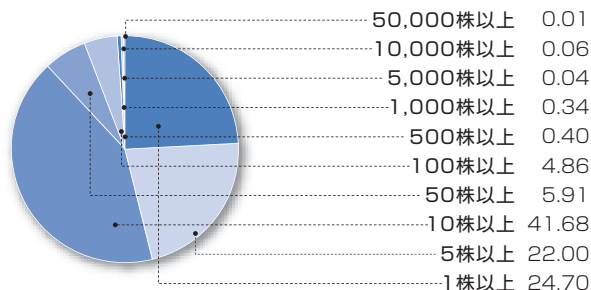
### 所有者別分布状況(%)

※発行済株式総数1,196,000株



### 所有株数別分布状況(%)

※単元株のみ所有株主数15,429人



### アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

青木 利晴	株式会社NTTデータ 相談役 株式会社NTTデータ 元取締役相談役 株式会社NTTデータ 元代表取締役社長 日本電信電話株式会社 元代表取締役副社長
南部 靖之	株式会社パソナグループ 代表取締役グループ代表
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士 社会保険庁・文部科学省大臣官房総務課・日本郵政グループ(ゆうちょ銀行・郵便局会社等)各顧問弁護士 みずほグループ各社 顧問弁護士 国立大学法人千葉大学理事・副学長
山本 恵朗	財団法人みずほ国際交流奨学財団 理事長 株式会社みずほホールディングス 元取締役会長 株式会社富士銀行 元頭取



# Faith to Face

~いい顔に逢いたくて~

フェイスのグループ企業を訪ねて

## 株式会社フェイス・ワンダワークス

# コンテンツの企画・制作と配信、その融合を通じて、喜びと感動を提供。

### 事業内容

■ 音声、音楽、映像等のコンテンツの企画・制作およびインターネットでの配信

■ 映像の企画・制作、出資、宣伝

株式会社フェイス・ワンダワークスは、2009年4月1日、エンタテインメント・コンテンツの企画・開発・配信の「ギガネットワーク株式会社」と、映画・映像の企画・プロデュース・制作・宣伝の「株式会社デスペラード」が経営統合することで生まれました。

社名に「フェイス」の名を冠し、グループにおける動画を始めとするコンテンツの企画・制作・配信の中核事業体としての位置付けを明確化、また「ワンダワークス」に「驚嘆するような」「奇跡のような」(Wonder)、コンテンツ作品(works)を提供していきたい、という思いが込められています。

「ギガネットワーク」および「デスペラード」の名前は、すでに市場に浸透しており、今後もブランドとして継続使用いたします。着うた®、着メロ®、動画、デコメ®等総合携帯エンタテインメントサイトである「ギガネットワーク」ブランドは、現在約300万人というユーザーリーチを誇っています。

一方、「デスペラード」ブランドは多くの映画・映像企画・プロデュースの経験から得られた豊富なノウハウを活かし、市場にインパクトを与える高品質コンテンツを企画・制作しています。最近では、2010年公開予定作品、松たか子主演の「告白」の製作を手がけています。

コンテンツ制作からパソコン・携帯向け配信まで、迅速かつワンストップに提供する「フェイス・ワンダワークス」。「喜び」と「感動」を与える新しいエンタテインメントを創造する企業です。

### 会社概要

会社名称 株式会社フェイス・ワンダワークス  
 英文表記 Faith Wonderworks, Inc.  
 本社所在地 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目23番23号 恵比寿スクエア  
 代表取締役社長 吉田 眞市  
 資本金 17億円  
 株主 株式会社フェイス 100%  
 設立年月日 2000年1月18日  
 従業員数 43名(2009年4月1日現在)



GIGA NETWORKS + DesperaDo =フェイス・ワンダワークス